

オンラインを使った市民活動支援事業

【団体名】NPO法人わらび市民ネット

【担当部署】市民生活部 市民活動推進室

【提案型】指定テーマ

1. 事業の目的

コロナ禍で市民活動が停滞し、解散の危機、団体員のやる気消失、活動意欲の低下など、市民活動を考える時期にきている。そこで、今後の市民活動を考えるきっかけづくりや、新たな活動の場として、団体PR動画の配信、ZOOMを使っての市民活動団体の相談などで、蕨市の市民活動団体をサポートする。

2. 実施内容

①団体紹介動画の作成・配信

令和3年10月から募集を行い、合計23団体からの申請があった。

なお、令和4年度も団体独自で引き続きサポートを行う予定。

②オンライン（ZOOM・電話・メール）を使った相談受付

令和3年10月から呼びかけを行い、相談件数は計19件となった。

3. 役割分担

団体：講座の企画、立案、周知、開催、運営に関すること

市：活動へのアドバイス、経費補助、広報に関すること

4. 事業費と主な支出内容

(1) 事業費：総額 50,588円

(2) 支出の主な内容

印刷製本費（チラシ作成）、消耗品費（団体用名刺用紙、インク代）等

5. 協働による効果

◎活動が停滞していた団体も、団体PR動画作成の申請を行ったことで今後の団体のあり方を前向きに考える機会となった。また、今後の活動に向けて動き出すきっかけのひとつとなった。

◎オンラインでの相談を強化したことにより、新型コロナウイルス感染症に対する不安感を持つ利用者の声を、感染のリスクがない状態で聞かせてもらうことができた。

6. その他の成果・感想・今後の課題など

【団体より】

コロナ禍でやり取りが少なくなっていた団体の方々と接してみて、様々な状況を聞くことができた。高齢者の団体にとっては簡易的な動画の作成であっても新鮮な気持ちになっていただけたようで、喜びの声を多数いただいた。

また、団体紹介動画の作成・配信を行う中で、各団体の QR コードの作成も行ったが、団体によっては QR コードの読み取り方から学ぶ必要があったりと、高齢化する団体に対する IT でのアプローチの仕方については、今後の課題であると感じた。

動画作成については今後も継続して行っていきたい。

【担当課より】

コロナ禍における市民活動については、早く動き出したい方や、活動はしたいものの感染症に不安を覚える方など様々な考えを持つ市民がいるところですが、活動のサポートと相談体制の確保により、そのどちらにも寄り添った事業となったと感じました。NPO 法人わらび市民ネットの皆さんも工夫をしながら活動をしている団体のひとつですので、団体に対して非常に親身な事業となったと感じております。

しかしながら、やむなく解散を選択する団体もまだ多く見受けられますので、今後も団体に寄り添ったサポートを継続していきたいと考えております。